

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
(第13期 第1年 第2回 第1日)

ぎじろく
議事録

1 日時 2020(令和2)年9月13日(日) 午後2時00分～4時30分

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 23人

アディテア ワルマン、カイ イーモンタン、グエン テイトウチャン、児玉
ノンティシャー、許 成龍、シン バスカ バハドゥール、スチエタ
スリニヴァサン、池 垠伊、張 亮、チョ チョ カイン、ドウマヤス
アリヤン、バテネフ アルチョム、ペレーラ ラヒル サンケータ、ポール
ウツザル クマル、ボソ ミゲル アンヘル、前田 喜与美、ムハマド
アイマン アリフ、ユデク マルチン、尹 智夏、李 歡歡、レイバーマン
ケビン、和田 恵麗奈、ンディアエ マリ カテリン

(2) 事務局

小川 課長、ながぬま たんとう 担当課長、さとう 課長 補佐、やまもと たんとう 担当係長、くさかべ
職員、たかほし 専門調査員

4 傍聴者 5人

5 会議次第(公開)

(1) 開会

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

ペレーラ委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議、2020年度第2回第1日を開催する。今日は、金さんと劉さんから欠席の連絡があった。前回まで欠席だったアディティアさんが出席しているので、簡単な自己紹介をお願いする。」

アディティア委員「インドネシア出身。私たち外国人が考えていることについて話合っ、問題を解決できればと思う。」

ペレーラ委員長「それでは、今日の日程と配布資料の確認について、事務局から説明をお願いする。」

(事務局佐藤課長補佐が説明)

ペレーラ委員長「次に、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし)それでは、議事に入る。まずは、代表者の辞任と補充についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料2に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし)それでは、補充をするかどうか決めたい。案では、①補充しない、②第2回第2日から参加できるなら補充する、③第3回第1日から参加できるなら補充する、④その他とあるが、その他の案はあるか。」

シン委員「人数を定めて、その人数よりも少なくなったら補充するというのはどうか。」

事務局高橋専門調査員「欠員が出る度に補充するかどうかを決める。理由としては、代表者のみなさんはアジアやアフリカといった選出地域区分ごとに選出されているので、単純に減った人数だけ補充するという事になっていない。補充は欠員が出た地域区分から補充することになる。」

前田委員「私もまだ迷っているのだが、前期の経験からすると今回は補充のできる最後のタイミングだと思う。これよりあとになると、審議も進んでしまうので途中から参加するのは難しい。」

ペレーラ委員長「それでは、決めたい。①補充しないに賛成の人は手を挙げてください。(5人)②第2回第2日から参加できるなら補充するに賛成の人は手を挙げてください。(14人)③第3回第1日から参加できるなら補充

するに賛成の人は手を挙げてください。(4人) 補充については、第2回第2日から参加できるなら補充するに決まった。次の議事はイベントへの参加についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局日下部職員が資料3に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし) では、次の議事に入る。グループワークについて事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料4に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし) では、グループワークは15時25分まで。その後10分間の休憩を挟んで、15時40分から全体会を再開する。」

(グループワーク)

ペレーラ委員長「それでは全体会を再開する。各グループの報告を1グループにつき3分程度でお願いします。まずはAグループから。」

許委員「Aグループでは、外国人のための防災訓練の仕組みづくりという意見が出た。池さんが以前に住んでいた山口県では防災の仕組みが整備されていたそう。ただし、それでも自分で情報を取りに行かなければいけないという現実もある。ほかには、税金についての具体的な経験の話もあった。子育て関連では、妊娠してから子どもが生まれるまでの医療機関の対応や多言語資料を求める意見が出た。最後に留学生の就職支援について、何かできないかということがあった。」

ペレーラ委員長「次に、Bグループの報告をお願いします。」

チョ委員「Bグループでは、7つの意見が出た。1番目は、税金の申請書などの名前を書くところで名前が長く書ききれないので、全部書けるようにしてほしいというものだ。2番目は、子どもの進学についてで、進学のために早くから塾に行っている子どもがいるが、そういった情報収集をどうやってすればいいのか、多言語の情報や情報がもらえるコミュニティをつくってほしいという意見だ。3番目に、災害時のハザードマップの多言語版がほしいという意見もあった。4番目は、今だとコロナで家にいるときに暑いので冷房をつけてくださいのようなアナウンスがあったりするが、日本語なのでわからなかったり、聞き取れなかったりするという意見が出た。5番目に、ごみの分別のルールを

もう少し教育させて欲しいという意見も出た。きちんとルールを知っていれば、外国人に対する不安や不信も減ると思う。6番目に、看板が日本語だけだとわからないので、絵を使ったり、多言語にしたりして欲しいという意見だ。7番目は、申請書などの書類をすべて電子化して欲しいという意見だ。」

ペレーラ委員長「続いて、Cグループからの報告をお願いします。」

李委員「私たちは、大きく3つある。1つ目は、情報についてで、情報が少ないという話と多すぎるといふ話の両方が出た。出産などに関する情報は少ない、一方でごみの分別や防災など、情報は充実しているが効率的に活用できていないという話だった。2つ目は、教育の問題で、日本語が話せない子どもが転入したときに、どうやってサポートしているのかという話といじめや差別のことなども意見が出た。3つ目は、保育園の問題だが、これは外国人だけではなく日本人も共通の問題だ。最後に、個別の具体的な事例だが、友人が夜中に病気になったので救急車を呼んだが、日本語が話せないで本人確認ができず、タクシーを呼んだという話があった。」

ペレーラ委員長「最後に、Dグループからの報告をお願いします。」

グエン委員「Dグループでは、大きく2つのことが話題になった。1つ目は、教育について、具体的には保育園の入園手続きが大変で難しかったとい意見や入所基準を知りたいといった意見が出た。2つ目は、情報についてで、川崎市では転入時にウエルカムセットの配布をしているが、パートナーが日本人だと渡されていなかったり、あるいは日本語だとよくわからなかったりという意見が出た。全体的に、どうやって情報入手すればよいかという問題で、やさしい日本語を使うとか、外国人専用のホームページやYouTubeがあるとよいといった意見が出た。」

ペレーラ委員長「各グループからの報告は以上だが、何か質問や意見はあるか。

(なし) それでは、専門調査員からコメントをもらいたい。」

事務局高橋専門調査員「具体的な審議はこれからしていくことになるが、まずはみなさんの関心やアイデアを共有できたことはよかったと思う。そのうえで、今後に向けて3つのことをコメントしたい。1つ目に、今日は個人的な経験や知りたいことなども話になっていたが、個人的なことを個人的なことのままで会議として審議していくことはできない。どうすればほかの人と共有できるのか、どういったレベルの問題にすれば課題として共有できるのかを考える必要がある。2つ目に、情報の問題は第13期だけではなく、どの期でも出て

くるテーマだ。情報がわからない、あるけれど知らない、効果的に活用されていないなどはよく出る意見だ。意見自体は理解できるのだが、このままでは提言にするのは難しい。この代表者会議のよいところは、具体的なことを具体的に改善できるところにある。たとえば、どの情報の、どの部分を、どのように改善して欲しい、とすれば取組に結びつきやすいのだが、逆に単に多言語化して欲しいや情報が届いていないというだけでは、話が大きすぎて具体的な改善には結びつきにくい。また、情報に関しては届いていないという意見がある一方で、人によって欲しい情報は違うので、誰が何の情報を必要としているかはわからない。もちろん、情報発信の仕方でも改善できる部分もあると思うが、待っているだけでは情報はやって来ない。情報が欲しい人、必要な人が自分でもアプローチしないといけない部分もある。お互いのアプローチがないとマッチングが難しいことは理解して欲しい。3つ目に、今日はまだみなさん情報や知識がない中で話している部分があると思う。今日はそれでよいが、今後はイメージや思い込みではなく、事実に基づいて話し合う必要がある。たとえば、制度があるのかないのか、あるとしたらどのような制度なのか、どのような現状で、どのような課題があるのか、そうしたことをきちんと踏まえながら審議する必要がある。」

ペレラ委員長「何か質問はあるか。(なし)では、次回の会議をどうするか決めたい。案では、①部会の設置に進む、②グループワークをもう一度やる、③その他となっているが、何か意見はあるか。(なし)では、決をとる。①部会の設置に進むに賛成の人は手を挙げてください。(10人)、②グループワークをもう一度やるに賛成の人は手を挙げてください。(12人)」

スチュエタ委員「質問だが、今後も何かあれば新たにテーマを提案することはできるか。」

事務局高橋専門調査員「みなさんが審議テーマを絞ったあとは、基本的にはそのテーマを中心にスケジュールを組んで審議していくので、途中で新しいテーマをくわえることはできない。審議テーマを提出してもらうときには、今日話していないことをくわえても構わない。念のために確認したいが、次回もう一度グループワークをするとすると、その分、部会の審議が1回減るがそれでよいか。話し足りないという気持ちはわかるが、先ほどもコメントしたように大事なものはイメージや思い込みではなく事実に基づいてしっかりと部会で

審議することだ。」

前田委員「決をとったのだが、私もみなさんにもう一度考えて欲しいとおもっていた。みなさん、テーマを絞ると自由に意見が言えなくなるのではないかという部分で心配しているのかと思った。確認なのだが、部会に進むとなったら今日言えなかったことも含めて事務局にテーマ案を提出して、それを整理したリストをもとに次の会議で話し合いをする。そのうえで、最終的にテーマを絞って部会を設置する。そして、部会の中でさらに審議を深めていくという理解でよいか。」

事務局高橋専門調査員「そのとおりだ。テーマを絞るとはいえ、当然そのテーマの中ではいろいろな意見が出る。」

ペレラ委員長「今の話を踏まえたうえで、もう一度決をとりたい。①部会の設置に進むに賛成の人は手を挙げてください。（16人）、②グループワークをもう一度やるに賛成の人は手を挙げてください。（7人）では、決をとりなおした結果、今回は部会を設置するということに決まった。今後のことについて、事務局から説明をお願いします。」

事務局高橋専門調査員「次のステップとしてテーマ案を出してもらおうのだが、たとえば『子育て』だと中身がはっきりしない。第12期のときのサンプルをメールで送るので、それを参考にできるだけ具体的にしたい。」

ペレラ委員長「それでは、9月20日までに審議したいテーマを事務局まで提出してください。次は、実行委員会報告。まず臨時会実行委員会からお願いします。」

張副委員長「臨時会については資料に書いてあるとおりだ。今年度に関しては、新型コロナウイルスの影響があるので、そのことについて意見交換をした。主なものは次の5つだ。1つ目は、オンラインでの開催だが、本当にオンラインで開催できるのかは要検討だ。2つ目は、広く意見を聞くためにアンケートをとるといふものだ。事務局からは、アンケートをとるならただ意見を聞くだけではなく、受けた意見に対して代表者会議としての見解を示す必要があるという指摘があった。個別に返事をする必要はないが、自分たちが求めている意見に対しても無視することはできない。3つ目は、広く意見を聞く方法として私たちが個人的に聞き取りをするというものだ。4つ目に、やはり実際に顔を合わせて意見交換をする意味やメリットもあるので、開催方法を模索するというものだ。5つ目に、今年度の開催は難しいので、来年度に向けてしっ

かり準備するということだ。今日はとくに結論は出ていない。報告は以上だ。」

ペレーラ委員長「次に、ニューズレター編集委員会から報告をお願いする。」

バテネフ委員「第1回目ということでニューズレターの目的や内容、スケジュール感などについて事務局から説明を受けた。決まったこととしては、私が編集委員長を務めることになった。次のニューズレターの発行は、2021年3月の予定で、記事と担当者は次回の実行委員会で決める。以上だ。」

ペレーラ委員長「今日の議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いする。」

【事務連絡】

- ・議事録の確認について

ペレーラ委員長「以上で今日の日程は終了だ。次回は10月18日の日曜日、ここ国際交流センターで開催する。これで2020年度第2回第1日の会議を終わりにする。」